西東京市市民協働推進センター

平成28年度第11回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成29年3月21日(火)午後7時00分～9時00分
■開催場所：イングビル3F　第1,2会議室
■出席委員：池田委員、熊田委員、紺野委員、坂口委員、佐藤(文)委員、佐藤(留)委員、鈴木委員、田中(友)委員、田中(宏)委員、谷委員、富沢委員、中村委員、藤江委員＜以上13名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、佐藤副センター長、小平福祉活動推進課長、妻屋課長補佐、八阪主事

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、2月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：東京都消費生活総合センターであった区市町村NPO・共助担当職員連絡会議の主催は東京ボランティア・市民活動センターか。

事務局：そうだ。

2. 2月以降の事業について

事務局より、3月以降の実施事業について説明があった。

委員長：まちづくり円卓会議（以下、円卓会議）はどうなっているのか。

委　員：これまでの3回を振り返り次年度につなげていきたい。高齢者の地域デビューの背景を考えて円卓会議ができるとよいと考えている。

委員長：市外で円卓会議やお父さんお帰りなさいパーティ（以下、おとぱ）の話をすると詳しく聞かせて欲しいなど興味を持ってもらえる。モデル的に展開できることを視野に入れながら広めていけることができればよいと考える。

3. 来年度の運営委員会委員について

事務局より、平成29年度西東京市市民協働推進センター運営委員会委員名簿について説明があった。特に質疑はなかった。

4.来年度の事業計画及び活動計画について

事務局より、平成29年度西東京市市民協働推進センター事業計画について説明があった。

委員長：一般社団法人が増える傾向にあるため、NPO法人以外の法人として登録を視野に入れて欲しい。文言に入れなくてよいが、今後の市民活動実態調査をする時には西東京市の一般社団法人の把握をすることも視野に入れる必要があると考える。

事務局より、平成29年度西東京市市民協働推進センター活動計画について説明があった。

委　員：アースデーの件だが、実行委員長からゆめこらぼに何か相談はあったか。

事務局：相談記録にあるように、実行委員や登録団体からのアースデーに関する相談には対応している。
委　員：市民だけでやると大変なので、ゆめこらぼで何か手伝ってもらえることはないか。
事務局：ゆめこらぼの人数で運営側の手伝いに入るのは難しい。相談記録にあるようにボランティアの相談にのることはできる。

5.NPO 法人・市民活動団体実態調査報告書について

事務局より、NPO 法人・市民活動団体実態調査書について説明があった。

委　員：回収率が上がるとよい。22%では統計的に無理がある。回収率を上げる工夫が欲しい。
委　員：前回との比較をしたパートはあるのか。
事務局：前回との比較だけを取上げて記載したパートはない。個々の回答の中で記載する形をとった。
委　員：毎年この時期にやっているのか。10 月、11 月は市民活動団体にとっては忙しい時期であるため避けて欲しい。督促はしたのか。
事務局：前回は 4 月から 6 月で、やはり忙しい時期ではあったと思う。督促はかけたが強くはしていない。
委　員：団体の抱えている問題と分野でクロス集計をかると傾向がみえる可能性があると考える。
委員長：総論はつけ加えるのか。
事務局：今は考えていない。委員長：結果をどうつなげていくかである。回収率を上げるにはインセンティブを付けるなど考えてはどうか。回答いただいた方にはデータを渡すのか。回答をもらえなかった方にも結果を伝えれば次回に繋がる可能性はある。いずれにしろ回収には苦労するので工夫が必要である。
事務局：結果は閲覧できるようにホームページで公開する。

2. 審　議　事　項

1.前回会議録について

委員長：次期運営委員長の団体名を正式に記載して欲しい。今週末までに他に意見がなければ、確定稿とする。

2. 今年度の事業報告について

事務局より、平成 28 年度西東京市市民協働推進センター事業報告（案）について説明があった。

委　員：ひまわり事業がなくなる代わりに何か新たな事業はないのか。
事務局：市と東大との共同事業だったが、東大農場が工事となるのとひまわりプロジェクトも高齢化の問題を抱え解散となったため、代わりのものは考えていない。
委　員：確認だが、センターの来訪者が増えているが、過去の件数はカウントしているのか。
事務局：している。
委　員：昨年比と比較してどうか。

事務局：人数が特別増えているわけではないが、毎月のおとぱミディサロンなどの開催により一般市民に認知されるようになっている。サロンで開かれた講座の参加者は来訪者にカウントしていない。

委　員：市民活動に関する情報収集だが、新たに調布市が加わりとあるが、どういう趣旨で開催されている情報連絡会か。

事務局：もともとは6市小平市、日野市、府中市、三鷹市、八王子市、西東京市で開催していた中に調布市が加わった。多摩地域の民営の中間支援センターが任意で集まり情報交換、意見交換の場として始まった。年に2回から3回、幹事は持ち回りで行い、それぞれテーマを決めての話し合いと日頃の活動状況、市との関りなどの情報交換を行っている。共同で何かするまでには至っていない。

委　員：お互いの情報交換により刺激し合っているのかと思うが内容はどこかに公表をしているのか。

事務局：公表はしていない。ゆめこらぼでは参加した時の資料を運営委員会で回覧をしている。

委　員：今年度の様子はどうであったか。

事務局：三鷹市が体調不良により不参加となっている。発端が民設民営でやる団体を中心にやっていくことが前提であったので、調布市が入るときにどうするかの議論をした。中身をどうするかということについても議論したが現状維持の情報交換、意見交換で進めていくこととなった。

委員長：情報収集という事業の中での説明を捕捉して欲しい。成果と課題も①②など表記の仕方を修正して欲しい。まちづくり円卓会議は次の展開も見えてきたので、過年度にコミットした部分も記載してはどうか。

事務局：意見を取り入れ修正することとする。

3. 協　議　事　項

1. 来年度の運営委員会の進め方について

事務局より、市民協働推進センター運営委員会について説明があった。

委　員：図があれば分かりやすい。

委　員：運営委員会の権能に関し、センター業務の執行で重要なものか否かを運営委員長が判断を行った事例はあるか。

事務局：実際にはあまりない。

委員長：委員会できっちり議論するか否かの判断はある。西東京市社会福祉協議会（以下、社協）本体としてゆめこらぼに重きを置いていることは記載した方がよいのではないか。

委　員：協働についてだが、協働は市民活動団体と市とが云々との記述になっているが市民や企業は含まれないのか。

事務局：市民活動団体との協働の基本方針という市が作成したものを引用している。基本方針が市と市民活動団体の協働の基本方針と枠にはめられている。

委員長：ゆめこらぼにおける協働という意味で、ゆめこらぼでは行政と市民活動団体とに留まらないような文章が入っていると分かりやすい。

委　員：協働の考え方についてとして、ゆめこらぼのスタンスと市のスタンスを記載してはどうか。

委員長：少し幅をもって修正して欲しい。
委　員：運営委員会は取締役会で事務局は役員が決めたことをやるのが役割と事務局から言われたことが気になる。上下関係の認識を議論して欲しい。
委員長：すべての情報を持っている事務局と権限がある理事との立場の違いがある。設置規則を変更できない。事務局との関係性は作り上げていくしかない。規則として議決は運営委員会ですが、事務局の提案をどれだけ尊重するかは議論していく。

事務局より、運営委員のサポートについて説明があった。
委員長：主旨は理解いただいたと思うが、質問はないか。
委　員：団体でありながら運営委員でもある。うまくサポートできるか自信がない。
委員長：とりあえずやってみて様子をみることとする。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：4 月 18 日（火）19 時～21 時
会場：イングビル 3 階　第 1, 2 会議室